

ProMED-mail情報 2021年 2月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
28日	鳥インフルエンザ ロシア	当局は18日、南部アストラハンの養鶏場で発生した鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の封じ込め作業に携わった職員7人からウイルス（H5N8亜型）が検出されたとWHOに報告した。この亜型によるヒトの感染報告は世界初。7人（29歳～60歳、5人は女性）は全員無症状で、ヒトからヒトへの感染は報告されていない。H5N8亜型ウイルスは、昨年、日本などでも家禽や野鳥から検出されている。
28日	皮膚リーシュマニア症 パキスタン	北西部バジョール地区で感染が急拡大し、地域全体に影響を及ぼしている。これまでに女性や子どもを含む140人あまりが罹患し、患者は今も増加し続けている。住民の要請に応じて保健局が医療チームを派遣し、治療を開始している。
25日	コレラ コンゴ民主共和国	報道によれば、南キブ州ウビラのサンゲ市で先週、コレラ患者が80人以上発生し、そのうち3人が死亡した。コレラ再燃の原因は市の複数地域での飲料水不足であり、住民に水を供給する地元施設はもはや機能しておらず、住民は現在、飲むに適さない水を使用しているとサンゲ市長は述べている。
25日	コレラ モザンビーク	ユニセフによれば、北部でのISIL（イスラム国）聖戦士による暴力から逃れて避難民キャンプの仮設宿泊施設やホストファミリー宅で暮らす民間人数十万人のうち、年末以来、5,000人近くがコレラに罹患し、55人が死亡した。ユニセフ広報は、原因は水と衛生設備の不備であり、緊急整備が必要だと語っている。
25日	サルモネラ症 英国	パン粉をまぶした生の鶏肉製品（グージョンやナゲットなど）が原因とみられるサルモネラ症が流行し、メーカーが製品をリコールしている。英国およびスコットランド食品基準庁、英国公衆衛生サービス、英国公衆衛生庁、ウェールズ公衆衛生局は、住民に対し、製品の調理に際しては適切な温度で適切な時間調理するよう注意喚起している。
25日	ペスト コンゴ民主共和国	3か月前にイトゥリ州でペストが発生して感染が拡大。保健当局によれば、これまでに520人以上が罹患し、少なくとも31人が死亡した。死亡者の年齢は生後3ヶ月～73歳（平均13歳）で、肺ペスト5人、ペスト敗血症2人、他は腺ペスト患者。同州では昨年7月にもペストが発生し、WHOが警告している。
18日	リステリア症 米国 (コネチカット州、メリーランド州、ニューヨーク州、バージニア州)	4州で計7人の患者（うち6人はヒスパニック）から流行菌株が分離され、保健当局が調査中。聴き取りした4人中3人がヒスパニックスタイルのフレッシュソフトチーズを1種類以上食し、3人ともケソフレスコチーズを食べていた。当局は、患者が購入した店からチーズ製品（El Abuelitoブランド）のサンプルを収集して検査するとともに、消費者、レストラン、販売小売業者に、このブランドのケソフレスコチーズを喫食、販売、提供しないよう警告している。
16日 11日	ロスリバーウイルス バーマ森林ウイルス オーストラリア	ニューサウスウェールズ州南部で両ウイルスの感染を疑う患者が増加しており、当局が調査中である。ビクトリア州では、今年これまでにウェリントンシャイアで10人からロスリバーウイルスが検出されている。両州の保健当局は、感染が懸念される地域では、蚊に刺されないように長袖の着用や虫除けの使用等の対策を講じるよう、住民に勧告している。
15日	腸チフス シンガポール	シンガポールショッピングセンター内の食料品店が調理した食品を食べた後に2名が腸チフスになり入院。当局は、疾患と当該店の食品との関連を調査するとともに、この店の食品事業を当面停止し、利用者に対して、長引く熱が出た場合には医療機関を受診し、医師に喫食歴を伝えるよう注意喚起している。
15日	キャサヌル森林病 インド	ケララ州ワヤナードのマレンコリー村で症例が報告された。患者は30歳で、2月11日に入院して治療を受けている。当局は、村の森林周辺のホットスポットでの監視を強化し、最前線の森林スタッフと森林周辺に住むリスクの高い人々に対しては、手袋や長靴などの個人防護具を使用するよう助言している。
8日	狂犬病 ペルー	首都リマで、疫学監視システムが機能せず、犬の狂犬病の再燃が危惧されている。リマには約200万頭の犬がおり、規則上は年間4,000件ほどの検査数であるべきだが、昨年の検査数は11件。第2の都市アレキパでは、今年1月だけで10頭の狂犬病が報告されており、狂犬病のリスクはリマも同様と推測されている。